

第2回築上町総合計画審議会／会議要録

日 時：令和7年11月26日（水）13:00～15:00

場 所：築上町役場 会議室 3-1/2

出席委員： 松原 英治、神崎 智子、垣内 昭生、中嶋 重利、成吉 勇亮、亀野尾 美紀、
宮本 聡明、中村 信雄、辻畑 藤枝、中村 一治、久本 成美、宮崎 嘉人、
宮崎 英治、松村 一成

（出席：14人/19人）

欠席委員： 今任 弘之、原田 秀行、白川 義雄、笹本 良介、福田 尚子

事務局： 椎野、舩川、辻上、増田

次 第	1. 開 会 2. 会長挨拶 3. 協議・報告事項 （1）第3期築上町まち・ひと・しごと創生総合戦略 令和6年度効果検証について （2）築上町過疎地域持続的発展計画 令和6年度効果検証について 4. その他事務連絡 5. 閉 会
会議要録	
1. 開会	○開会のことば （事務局）
事務局からの報告事項	○第1回審議会会議要録について 第1回審議会の会議要録を配付。会議要録は後日、町ホームページで公表予定。 ○委員の身分及び情報共有について 委員は特別職非常勤職員であり、公務災害補償の対象となる。配付資料及び審議内容は、個人情報に関わる話題を除き、所属団体に持ち帰り情報共有して差し支えない。
2. 会長挨拶	○あいさつ内容 委員の皆さまには活発な議論と円滑な議事進行への協力をお願いする。

	また、事務局には簡潔に説明を行うようお願いする。
3. 協議・報告事項 (1) 第3期築上町まち・ひと・しごと創生総合戦略 令和6年度効果検証について	○全体について事務局説明 第3期総合戦略の初年度（令和6年度）の取組を振り返り、その成果と課題を共有し、次期総合計画策定に向けたご意見をいただく機会とした。 ○【基本目標1：魅力と活力のある地域をつくる】について事務局説明 検証のあり方について （委員）諮問書の趣旨にある「客観的な検証」について具体的にどのようなことをするかが分からない。数値目標やKPIなど数値の正確性も含めて検証をするのか、数値を見て意見を述べるだけなのか。 算出根拠が示されなければ検証のしようがないが、口頭での質疑応答で審議を進めるというのであればそれでもよい。 ⇒（事務局）委員の皆さまからは目標達成に向けた提案や助言など施策の内容について意見をいただきたいと考えている。 質問に対してmGAPの内訳データなどを口頭で説明。 （委員）数値を検証するならば算出根拠を示すことは必要だと思う。KPIよりもそれぞれの事業内容の課題や取組方針について意見を聞きたいということであればその旨、委員へ説明した方がよいと思う。どのような意見がほしいのかを説明しないと分かりづらく、意見が出しにくい。 （会長）「数字に疑問があれば根拠を示す」形で議論を進めることを提案する。一概に数字について検証しないということではなく、数字がある程度信頼がおけるということであればこれをベースに議論を進め、委員の皆さまの知見を生かし今後事業をどのように推進していくかについてご意見をいただければと考えている。 （一同）異議なし。 公共交通について （委員）路線バス、コミュニティバスについて、JRとの接続を考慮した運行になっておらず、高齢者が駅で長時間バスを待つ状況であるため、利用者ニーズの検証や利用者の声を聴くなどして抜本的な見直しが必要ではないか。 情報発信について （委員）子育て応援パンフレット等の情報発信について、紙媒体だけでなく、SNSで利用しやすい画像やデータ形式での提供があればよい。ま

た関連情報について一目でわかるような工夫が必要ではないか。

若年層定住促進について

（委員）若年層にとっての課題は住宅価格である。空き家バンクの物件を購入後改修等しても価格が高い。マッチングだけでは取組が不足していると思うので、町が寄附された空き家を引き受け、低価格で提供できるような仕組み（工務店とタイアップ）をつくるなど検討してはどうか。

SNS 効果的運用について

（委員）SNS による発信でのフォロワー数やリーチ数を載せてもらいたい。紙媒体を見ない世代もいるので若い人たちが目にしやすいような発信をしたり、そのリーチ数について目標数値に入れるとよいと思う。

（委員）町公式 LINE のターゲティング機能の活用など、コストをかけずに効果的に情報を届けられる方法もある。

mGAP について

（委員）数値目標のmGAP について令和 6 年度は令和 5 年度より実績値が下がっている。推奨・参加・感謝の意欲、三項目のうち、どれが下がっているのか。

⇒（事務局）三項目いずれも下がっている。

（委員）各項目の実績値の数字について分析することは重要である。委員は共有した方がよい。

その他

（委員）数値目標と KPI 重要業績評価はどういう関係にあるのか。

⇒（会長）構造としては数値目標を達成するための KPI である。ベンチマークである数値目標に向かって、KPI を設定し、いろいろな要素の中で進捗管理を行う手法であると理解している。

○【基本目標 2：出産・子育て・学びの充実した環境をつくる】について事務局説明

いじめ・不登校について

（委員）いじめや不登校といった教育課題への対応について関心は高いと思われるが、本計画の施策に見えてこない。教育委員会との関係があるのか。

⇒（事務局）教育委員会としても取組は行っており、重要課題として認

識している。

施策と実感値の乖離について

（委員）子育て世代として、町の子育て施策は充実していると感じているが「子育てしやすいと感じる割合」の低さを残念に感じる。PR 不足によりその恩恵が住民に伝わっていないのではないかな。

（委員）目標に達成していない項目について、今から調査する、今から検討するというのではなく、何が届いていないのか、足りていないのかを分析することが重要である。

（委員）基本目標 1 にもつながることだが、子育て世代は SNS を中心に情報収集を行っている。ただ発信するだけでなく、登録者の分析などニーズに対応した、ターゲット層に届く発信になっているのかも検証してもらいたい。

子育て支援の具体的な課題について

（委員）「ちくじょうベビー育児用品定期便」や「産後ケア事業」について、利用申請手続きの煩雑さ、育児用品の選択肢の少なさ、予約の困難さ、対面受け取りの負担などが挙げられる。選べる品数を増やすなど利用者側の視点に立った改善を求めたい。

（委員）家事代行や料理代行などがビジネスとしてある。一家ごとのオーダーメイドのサポートもこれからはあってもよいのではないかな。そのくらい子どもの数が減少している。

その他

（委員）KPI で男女共同参画に関するイベント・講演会等の実施回数 1 回とあるが、具体的にどのようなイベントを実施したのか。

⇒（事務局）後日確認後、お知らせしたい。

（委員）町主催ではない事業は公式 LINE や広報紙に掲載ができなかったり有料広告となっている。町外からの集客が見込まれたり町の PR につながるような事業であれば、柔軟に対応していただけるとうれしい。他自治体では発信してもらえているものもある。公益性のある事業であれば検討をお願いしたい。

（委員）事業実施に当たり参加者からの意見聴取は行っているのか。その意見は今後の取組方針に反映されているという認識でよいか。

⇒（事務局）イベントの際はアンケートを実施するなどして次回改善に向けての参考資料としている。

○【基本目標３：将来の人口減少と超高齢社会を見据えた持続可能な町をつくる】について事務局説明

行政手続のオンライン化推進について

（委員）利便性向上のためオンライン申請を積極的に進めるべきである。働く世代や子育て世代などのニーズが高い手続きを優先的にやってもらいたい。

健康寿命の要因分析について

（委員）健康でない人への対応状況を示してほしい。

（委員）これまで健康寿命は延びてきたと思うが、女性の健康寿命が0.9歳短縮した原因は何だと考えるか。また、男性の健康寿命が1.8歳延びた原因についても分かるのであれば調べていただきたい。早めに原因を分析した方がよいと思われる。

特定健診について

（委員）特定健診のオプション検査の対象年齢を40歳から30歳や35歳に引き下げることで、若年層の受診率向上につながるのではないかと。オプション検査が受けられないから健診に行かないという人もいる。

地域福祉体制について

（委員）生活支援体制整備事業から重層的支援体制整備事業への移行について、町と社協と住民が一体となって協力していかないと進まないもので行政が主体となって取り組んでいただきたい。

（委員）通いの場について、運営での負担増が課題となっているが、開催時に町職員が参加しているのか。

⇒（事務局）行政主導のふれあい健康サロンから地域主体の通いの場へ移行するため、町では導入支援と定期的なフォローを行っている。

（委員）介護予防サロン等の各種団体の自主活動に対する支援があるとうれしい。

防災対策について

（委員）災害時の避難行動要支援者と支援者、対策本部をつなぐアプリケーション（アプリ）の内容はどのようなものか。

⇒（事務局）DX推進の一環として緊急時に関係者間で情報共有できるアプリの導入について庁内でプロジェクトチームをつくり他自体の事例を参考に検討しているところである。

	(委員) 通信が遮断された際の対策として、アマチュア無線は有効であり国からも指針が出ているので参考にしてほしい。 防災士育成について (委員) 防災士の資格をもっている方が町内にどのくらいいるのか分かるか。 ⇒ (事務局) 職員ではない。 (委員) 福岡県の取組で防災士講座がある。自治体によっては費用を補助し、防災士を増やす取組をしているところもあるので参考にし、自主的に資格取得の希望がある町民の掘り出しを行っていただきたい。
3. 協議・報告事項 (2) 築上町過疎地域持続的発展計画 令和6年度効果検証について	○築上町過疎地域持続的発展計画 令和6年度効果検証について、会長から会議を延長し継続するか別日で実施するかを委員に諮った結果、別日で審議することで合意。
4. その他事務連絡	○事務局から、指摘のあった数値目標の根拠資料について、次回の会議までに可能な範囲で準備することと、第3回審議会の日程について調整し、後日通知発出することを委員へ連絡。
5. 閉会	○閉会のことば (副会長)